

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	子ども・子育てサポートセンターまなび舎		
○保護者評価実施期間	R6年 1月 1日		R6年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	53	(回答者数) 44
○従業者評価実施期間	R6年 1月 1日		R6年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 14
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 2月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保護者支援の充実	・日常的な保護者への声掛けや、フィードバック時の状況把握など、まなび舎を安心して利用してもらえることを意識し、相談しやすい環境作りを心掛けている	・ペアレントトレーニングや保護者の心身の支援を今まで以上に積極的に行うことで、家庭での子育て支援に力を入れていく
2	・活動プログラムを固定化させない工夫	・療育の記録を詳細に行い、利用者の状況に最適なプログラムの立案を行っている ・他の職員と話し合いを行い、利用児の課題を分析した上で、次の活動へ反映させている	・スピード感を持って個々のプログラムの立案を行えるよう、職員一人一人のスキルアップにつなげる研修などを通して、職員の意識を高めていく
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・情報共有が円滑に出来ていない	・大きな情報の共有は朝礼などで行えるが、細かい情報は一部の職員間での共有に留まってしまっている	・業務改善のPCDAサイクルにより多くの職員を積極的に参加させることで、日頃からの目標意識を高めていきたい
2	・職員の仕事量や目標意識に差が見られる	・自分のやる（できる）仕事ではない、とってしまうことで、職員間における仕事への取組の意識に差が生まれてしまっている	・一人一人がまなび舎の運営に深く関わっている、という意識を高めることができるようなミーティングや研修を行うことで、全員が同じ方向を向いていけるようにしていきたい
3			